

# JB Customer Report

**ORPHIS GD**

当社で実際に機械をご導入いただいたお客様の  
「生の声」をご紹介いたします!

取材：営業部 営業企画推進課

## 各務原市役所 様

各務原市役所総務課 多和田様より2020年7月に導入された、ORPHIS GD9631についてお話しを伺いました。



### 働き方改革の実現のために・・・

各務原市は、岐阜県内で第3位(約14万人)の人口数であり、役所内印刷が非常に多いです。その中でも特に議会関係の資料や選挙関連の印刷が多く、議会関係の資料は年に4回印刷があり1回で何万枚も印刷を行っています。従来は各課で作成した資料を総務課がとりまとめ、まとめてリソグラフで印刷をし、帳合機を使って部ごとに分けてから手作業でホチキス留めを行っていましたので、人的作業の負担はとても大きく職員の負担になっていました。そのような状況を改善すべく、生産性を上げるためにORPHISの導入を決めました。

導入後は、印刷室でスピーディーな印刷が可能な上、大量印刷への対応が柔軟にできるようになっただけでなく、突発的に必要になる資料なども臨機応変に対応が出来るようになりました。作業効率が格段に上がったことにプラスして、ORPHISの特長の一つである低ランニングコストでの印刷が可能になり、カラーも低成本でモノクロと変わらない速度での印刷ができるため役所内でORPHISは非常に重宝していますよ。あらゆる部署が印刷をそれぞれのタイミングで印刷しますので、印刷渋滞は避けては通れませんがORPHISの印刷スピード(毎分165枚)があれば多部署の印刷業務を十分処理出来ていますね。ステープル機能などの後処理の面でもORPHISの印刷スピードは十分生かされているので、便利な機能はフルに活用しながら職員の印刷作業の時間短縮に大きく貢献しています。

### カラー印刷をより身近に

市役所では、健康診断のお知らせやセミナー・イベントなど地域の方にわかりやすい案内にするためにカラーで印刷をして配布しています。以前はカラーの印刷コストの関係で外注することが多く、配布までに準備を含め時間を要していましたが、ORPHISを導入した事で現在はその場で印刷を行い、庁舎内ですべて完結できるため負担もかなり減りました。

ORPHISの活用は役所内だけの印刷に留まらず、各出先のコミュニティセンターで開催する講座のチラシなどもカラー化して印刷しています。コロナ禍でなかなかできていなかつた講座も少しずつ開催できるようになってきていますが、市民の皆様の交流の場で多くの方に講座を知ってもらうためには、お知らせを視認性の高いカラーで印刷することは重要であると考えていますのでORPHIS導入によってよりカラーが身近になりましたね。



### ORPHISの役所のセンター機として使用

市役所内にはたくさんの印刷機器の設置がありますが、基本20枚以上の印刷はORPHISを使用することになっています。ORPHISは印刷が速くてコスト(モノクロ・カラーどちらも)が安いため、使い分けのルールと管理がしやすいので上記のような運用ルールとしています。庁舎内にはカラーレーザー複合機の設置もあり、カラーレーザー複合機は色が鮮明に印刷できますので、どうしても鮮明に出さなければいけない物は上記ルール外でコストが高いカラーレーザーでの印刷許可を出すことがあります、極力ORPHISで印刷をするようにお願いしています。レーザー複合機はカード管理し、各課の使用枚数を公開して無駄な印刷がないかを把握しながらORPHISに印刷を集中させるようにしています。カラー印刷のほとんどはORPHISを使用して印刷を行っていますが、カラーの表現力・鮮明さが現在よりもさらにグレードアップできればカラー複合機が不要になりますので今後さらなる進化に期待したいですね。

### 営業担当者の声

各務原市役所様は旧庁舎からORPHIS(X7200・EX7200)をご使用頂いております。

現在はGD9631・GL9731の2台体制に加え孔版印刷機であるリソグラフもご使用頂いており、カラー印刷はORPHISで出力、モノクロ大量印刷はリソグラフで出力、各課でユーザー別の認証パスも設定し印刷部の混在を防ぐなどとても上手く使い分けをして頂いていると感じております。

ORPHISにはまだ後処理機能や使い方がございますので、より使いこなして頂ける様に担当営業として引き続きフォローをして参りますので、今後ともよろしくお願ひいたします。



担当営業：棚瀬 陽介